

刊夕日五十二月五

# 常警密日新聞

定価 一部金五銭 五部金二五銭 郵費別  
 廣告料 五部十二字一行金五銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常警密日新聞社  
 印刷所 常警密日新聞社

## 新作小名濱節

國井梅雄

小名濱紹介の爲め小原良節とおけさによつて小名濱を唄つて見ました、どうぞ御笑覧の上御叱正を願ひ上げます

## 小原良節

ハア小名濱よいとこ一度はおいで、逢つて話せばオハラハア氣もわかる小名ヨイ

ハア言葉悪いが心は良いぞ其れが嘘ならオハラハア町に來な小名ヨイ

ハア岡の米かよ海での鯛、あがり船かよオハラハア大漁船小名ヨイ

ハア天気豫報もラデオで知れる、速く小名濱へオハラハア避難しな小名ヨイ  
 ハア漁船おいでよ町營市場水揚勘定もオハラハアスピートよ小名ヨイ

## ノート

植物のうち一番長い名は海草の龍宮の乙姫の元結の切りはづしださうな

公園さくらに名は富ヶ浦、

松も緑りにオハラハア太平洋小名ヨイ  
 ハア商港完成も間近かにせまるやがて物資のオハラハア集産地小名ヨイ

## おけさ節

ハア見わたコラシヨット見わた岬が見わた、綱取岬があの灯ヨイ、小名ヨイ

ハア一度コラシヨットおいでよ小名濱波止場よ、出船入船大漁船ヨイ、小名ヨイ

ハアまかりコラシヨット遠るば荒海地獄よ、陸で愉快は極楽よヨイ、小名ヨイ

ハア時はコラシヨット金なり未野の鏡よ、撞き出すゴーンがさあ合圖ヨイ、小名ヨイ

ハア歌ムコラシヨット陽氣も小名濱おけさよ、景氣不景氣あしや知らぬヨイ、小名ヨイ

ハアおんやらコラシヨットこらさん引く地引網よ、今日は大漁ださあ急げ、ヨイ、小名ヨイ

ハア唄はコラシヨット下手でも座敷はもてるよ、出さぬ船には漁が無いヨイ、小名ヨイ

ハア遊ぶコラシヨット氣苦勞働く呑氣よ自然のめぐみで運ひらあくヨイ、小名ヨイ

★0000000000  
 ○明日の献立○  
 ○0000000000★

【朝】紅茶 ビーフサンドウ  
 井ツチ フルーツ

【晝】小饅頭の煮付  
 【晚】竹の子飯 おひたし

ハア町のコラシヨットカフェーで美人のサービス、清く遊べよ朗らかにヨイ、小名ヨイ

ハア一度コラシヨット二度から三度となればあよ、嘘も本當で身が立たぬヨイ、小名ヨイ



紅き花

磯野 みどり

絃を断て  
 夢のグ井オリン  
 そびらを向けよ  
 ものいはぬ黒髪の人よ女よ

むかひ居に  
 我れは堪へじ  
 樂慾の血のどよみ  
 燈火のひかりのもとに  
 壁の面に……うつむける  
 紅き花よ

## 氷水界ノ先進者

## 流線ケーキ

一個一銭

今回時代ノ要求ニ應ジ右ノ飲ミ物ヲ初メマシタ。御利用ハ御客様御來訪ノ折ノ御茶代用ニ、旅館、料理店様ノ御座敷用御茶ガワリニ、御子様方ノオヤツガワリニ色々御利用出來マス。  
 何卒御試食下サイ。  
 ◇配達ハ五個以上

## 平ニ暮暮寮星通り

## 魚清食堂

電話六三三

何となく

## 頭重て不快の方

二三回で不思議に快癒する

## フタバの磁氣

平町中仲町(電一九三番)

## 五月武者人形

## 大賣出し

御座敷敷、布、鯉、鏡、兜  
 諸道具類一式

例年の通り豊富陳列致しました。是非御一覽之程御待ち願ひます。値段は特に勉強いたします。但珍物として勿來關人形、

平町三丁目東通

## 叶加藤商店

## 御参詣團體募集

一、柳居津國藏尊(猪苗代湖白虎隊廻り) 自動車賃往復御一名  
 申込切 五月三十一日  
 出 發 六月一日午前四時

二、成田山(宇吾様) 自動車賃往復御一名 金二圓五十銭  
 申込切 六月三日  
 出 發 六月四日午前三時

三日 光(笠間稻荷廻り) 御一名 自動車賃往復金二圓五十銭  
 申込切 六月五日  
 出 發 六月七日午前一時

定員ハ各車共二二名  
 定員未滿ノ節ハ勝手ニラ延期致ス事モアリマス  
 尙御希望ニ依リ各種團體モ御相談ニ應ジマス

## 主催 尼子遊覽部

電話六四〇番

## 市原醫院

平町田町(電一一四番)

内科 小兒科 市原卯太郎  
 外科 梅毒、淋病 市原三三男

入院隨時

磐城セメント會社特約店



磐城平町五丁目 電話九番九九

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は久の生命なり

# 被害實に二百町

## 郡下苗代に猫毛病蔓延

### 農會豫防対策に腐心

石城地方各農村は最近天候不順に依る温度低下の爲め苗代に猫毛病の發生するもの多く郡農會で廿五日までに調査した處に依ると草野村の二十町歩を初め神谷、川前、内郷、澤渡、箕輪、永戸、大野等一園に發生しその被害反別は郡下の苗代

約八百町歩の三割を占める有様なので同會では是が對策として四斗式ボルドーの撤布殊に被害の猛烈箇所には直播の奨励を行ふ等萬全の策を講じて居るが幸に現在の状態から行くと苗の不足を告げる迄には至つて居ないと

## 關東から注文の種馬二頭

### 産馬組合で幹施

石城産馬組合へ廿五日關東地方の四府縣から優秀な磐城駒種牡馬二頭の幹施方を依頼して来たので同組合では直に郡内の飼育者に通牒を發したが買上馬匹は三才種牡馬の價額千圓程度のもので希望者は來月三日迄に同組合に馬の血統書其の他

を提出され度いと

## 稅務主任會

### 徵集法を協議

平縣稅務出張所は來る廿八廿九の兩日平署會議室に郡内各町村収入役、稅務主任等を集め各種稅金徵收に就いて協議會を開く

## 平青年團新役員

### 最高幹部會で決定

平町青年團では廿四日最高幹部會を開き今年度新役員を左の如く決定した、尙評議員は各分團二名宛詮衡の筈である

(郡代議員) 佐藤源吉(同補員) 藪谷喜太郎(修養部長) 佐々木俊雄(同理事) 大山庄松 小野滿義(体育部長) 石坂一雄(同理)

## 鮫川改修

### 年限短縮

#### 組合員の熱望

總工費三十六萬圓を投じ昭和九年以降五年繼續で改修工事に着手した關係地方民待望の石城鮫川江筋は九年度第一班工事として四萬二千圓を投じ上遠野村瀧地内より下流大掛樋まで千三百米の改修を行ひ此程終了引續き第二期(十年度工費約十萬圓)工事に着手するが江筋組合では灌漑水の欠乏から疲弊困憊の極に達して居る地方農民の爲め一日も早く全水路の改修完成を計るべく豫定の五ヶ年繼續を四ヶ年以内に短縮する事に決定した

## 郡の中堅農民が

### 現地講習會

#### 男女子全員參加

石城中堅農民講習會は來る卅一日泉村で女子部員の現地講習會を開き更に男子部百二十名の爲め好問村で同く現地講習會を開くと

## 川郷倉起工

### 上棟式を舉行

川部村では豫て工費三千圓で同村小川下地内に郷倉の設置に着手し此の程上棟式を舉行したが竣工は本月末の豫定である

## 平商校競走

平商業學校では明後廿八日海軍記念日に當り全校生徒の一萬米草野小學校前マラソン競争を行ふと

## 川中子橋改修入札

平土木監督所では來る廿八日午前十一時から赤井停車場線縣道川中子橋改修工事の入札を行ふ

## 平町人事

結婚 北日町鈴木多治氏(五六) 安達郡嶽下村字成田大源原むつ(五〇)

死 田町丸井株式会社調(四三)さん

## 株券

株式賣買ノ忠實ナル御相談相手トシテ御利用下さい

## 丸井株式会社

平町田町 七十三番 電話 四六番

## 無料診療

### 郡下日割決定

日本赤十字社福島支部の巡回診療班は左記日割で郡下

## 東京短期(本日)

寄付	大引	高値	安値
新東一	一四〇	一四三	一四二
大新	八〇	八五	八五
新東二	一四〇	一四三	一四二
大新	八〇	八五	八五
新東三	一四〇	一四三	一四二
大新	八〇	八五	八五
新東四	一四〇	一四三	一四二
大新	八〇	八五	八五
新東五	一四〇	一四三	一四二
大新	八〇	八五	八五
新東六	一四〇	一四三	一四二
大新	八〇	八五	八五
新東七	一四〇	一四三	一四二
大新	八〇	八五	八五
新東八	一四〇	一四三	一四二
大新	八〇	八五	八五
新東九	一四〇	一四三	一四二
大新	八〇	八五	八五
新東十	一四〇	一四三	一四二
大新	八〇	八五	八五

## 米

東	中	先	大
一期	二期	三期	四期
一節	二節	三節	四節
五節	六節	七節	八節
九節	十節	十一節	十二節

## 外務員募集

御取引御希望ノ方ハ御報次第店員參上致サセマス

活版印刷 見習生 二名採用す 年齢十五六歳 希望者は來談あれ 常磐毎日印刷株式會社 平町長橋町 電話六三〇

洋食 喫茶 宴会

●女給數名募集

コンパル

TEL.666

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

# 松ヶ岡に動物園

## 四季を通じた娯樂場化

### 平市民に耳寄りな話

平町松ヶ岡公園は櫻花と躑躅で濱通り唯一の名所に數へられ季節毎に各種の娯樂機關が設備され一大娯樂場を現出させて居るが最近平町の有志間では季節的な短かい娯樂設備よりも近代都市の公園らしい市民の遊戯場として公園廣場乃至内郷

## 恩給を賭けた

### 老婆の身分訴訟

#### 原告勝訴の判決

平町白銀町九久橋サダ(七)が市井辯護士を代理人として同町才穂小路一二久橋道男を相手取つて平支部に身分確認の訴訟を提起した事件は昨廿四日午後一時より

## 落盤惨死

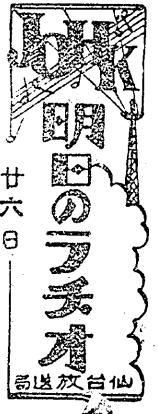
### 綴坑の新佛

内郷村磐城炭礦坑夫伊達郡桑折町生遠野鐵藏(五)は廿五日午前一時半頃磐城綴坑新斜坑中で作業中落盤の爲め即死したが昨年十月から作業に着手した同坑最初の犠牲者である

## 平自営會

### 役員を改選

平自営會では此の程理事會を開き昨年度の事業報告及び豫算決算を承認する七月



今晩の部  
後六、〇〇 子供の時間  
童謡と唱歌 一 齋唱「飯盛山に我立ちて」若松市  
若松第五小學校児童二  
獨唱「渡る君」渡邊君江  
後六、二五 講演「地理上  
より見たる國際問題」内  
田寛一  
後七、三〇 女聲合唱「楠  
は多年地方産馬の改良に盡  
力したので廿五日山崎農林  
大臣より一名二十圓宛の奨  
勵金を贈られ近く同組合で  
傳達する

## 産馬奨勵金

### 農林大臣の 近く組合で傳達

## 女工さん募集

### 猶ほ二百餘名が不足で

## 入り物鳴

### 繰業前の昭和絹

## 白米泥

### 平署に檢舉

錦村の昭和絹會社は愈々來月下旬より全工場繰業を開始するので豫てより平職業紹介所を経て男工百名女工六百名の募集を行つた處採用願ひ者は男工が千名近い申込を受けたのに反し女工の申込は農村の匡救事業着手農繁期の關係から未だ六百名の定員に達せず二百名に近い欠員を見て居るので繰業を前に控へ同工

## 漁港法規の徹底

### きのふ組合長會議

郡下漁業組合會議は昨廿四日午前十時から平町團體事務所樓上に開かれ漁業取締

## 四倉に水産倉庫

### 七千圓を建設計劃

四倉信用購買組合は本年度新事業として工費七千圓で水産倉庫を建設する事となり近く役員會を開いて決定する

## 青年學校

### 教練視察準備

今春發布の青年學校令により平町青年學校と改稱されたり前平青年訓練所は來月上旬教練視察の爲來平する伊藤縣知事及び廿九聯隊長を迎ふる爲目下 場中

## 平裁判たより

△湯本町湯本字向田四五士

後九、三〇 時報 ニュー  
ス 氣象通報 番組  
明日の部  
前九、三〇 神詣「東照宮」  
前〇、〇〇 講演「治水と森林」東大教授林學博士  
前〇、三〇 「廣瀬中佐の思ひ出」服部長兵衛「日本海軍の思出」山口一  
前一、〇〇 記念法要「大楠公六百年祭大法要」高野山管長高岡隆心  
後〇、五〇 (滿洲より)「社會見學」鞍山製鋼所中(繼(奉天))  
後一、二〇 常磐津「小柴權八郎仇夢」常磐津節太夫他  
後一、五〇 講談「紀之國屋文左衛門」神田山陽  
後二、二〇 東京大學野球リーグ「慶法、早立戦」神宮球場より中繼  
後六、〇〇 子供の時間  
連續童話劇「スミトラ物語」手品師になるまでBKコードモータークル  
後七、三〇 日曜特輯「ユース演藝」市川春代他  
後八、〇〇 「夜討會我」梅若六郎他  
後八、四〇 ラヂオドラマ「淡川」實川延若一座

## 平職業紹介所報告

回人を求める方  
△店員 十六才 高卒 仕  
着小使外二圓  
△女中 二十前後 尋卒  
△理髮職 二十五迄 尋卒  
食事付月十圓  
△難夫 二十八才 月十二三圓  
回職を求める方  
△自動車助手 十六才 尋卒  
△外交員 二十八才 實補卒  
△教員 二十才 裁女校卒  
△水配達 二十五才 高卒

## 外科

門專光  
科線X  
上田外科醫院  
平町南町  
電話一二九番



# 明治太平記

(無断複製 上映及上演)

(作) 寺島征史

(監) 野口 伍

第三百二十二回

## 延寮館夜景 (十三)

「ほう、パークス殿を知つて居るのか、あんたは……」大隈は不思議さうに多くの瞳に見入つた。

「ダンス場ぢやい、いゝあなたの方にお目に掛かりますわだけど別に話合つた事もございせんが……」

「好色とは？」  
「そんなお顔よ」  
「好色でよいではないか」  
「そりや、人様の事でもの……オホ、ハ、ハ、」

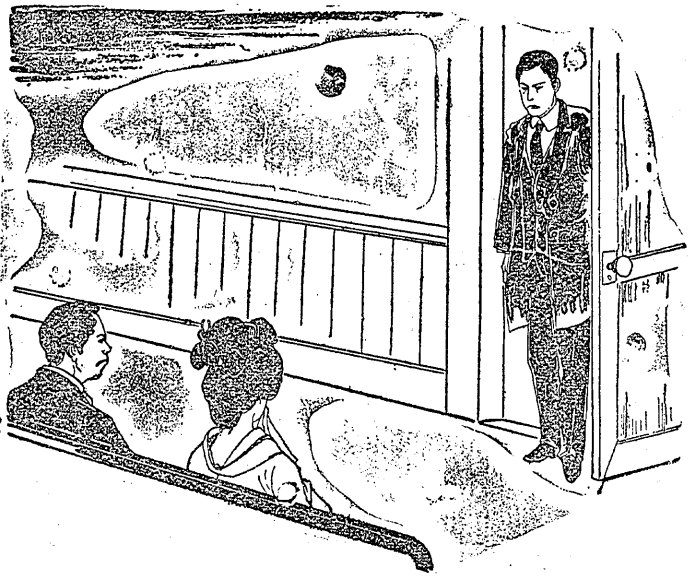
「そのパークス殿の好色の視野があんたにも延びたのぢや」  
「どうぞ」  
「えい！」  
「どうぞ御随意に……」

「いや、さういふ易々と云ひすてられてはちと困る。パークスは命がけにあんたを戀して居るんぢや、何んとかその色よい返事を洩して貰ひたいのですな」

大隈はそれだけ述べるにもなみ／＼ならぬ苦勞だつた。

「……」  
おふくは深く考へるをした。朗かな嬌舌な……

くもそこまで来ると自然口ごもる様になる。  
「どうぢや。パークスの命がけの戀だ、うんと一言返事をしてもらひ度い」  
するとおふくは顔を上げた。



「なアに、あんたの出所は大凡わかつゝ居るんぢや。新島原の女だらう」  
大隈も次第にぞんざいな言葉つきになつて来る。  
「新島原の女なら、らしやめにし出してよいと仰しやるの」  
「そんな譯ではないが、しかし歴史とした上等社會の命令」

「あなたは明治政府の偉いお方、それが戀のとりもちまでなさるとは……」  
「なに？」  
「およし遊ばせな、みつともないわ」  
おふくは蓮ッ葉に言つてのけた。  
「いや、これも國家の爲め」

「なんぢや。國の大事を思へばこそ、戀のとりもちまでせにやならんのだ」  
「わたしの素性も知らずによくとりもちが出来ますのね」  
「なアに、あんたの出所は大凡わかつゝ居るんぢや。新島原の女だらう」  
大隈も次第にぞんざいな言葉つきになつて来る。  
「新島原の女なら、らしやめにし出してよいと仰しやるの」  
「そんな譯ではないが、しかし歴史とした上等社會の命令」

「その時下アが叩かれた。のつそり入つて来たのは江藤新平だつた。  
江藤は長椅子に寄添ふて居る兩人にけはしい眼を送つた。  
「お、其處に居つたのか……大隈君、きみも……」  
おふくはあでやかに媚笑を見せた。  
大隈はいさゝか狼狽の色を見せて、おふくの身邊を離れた。  
「やア……連日の接待に疲れたものぢやから、ちと休んで居つたのだ」  
「女を口説くと餘計疲れるもんぢやよ」  
「何の口説くものか」  
「さうか、くどいて居らなんだのか、では反對にくどかれて居つたのだやね」  
「ハッハ、ハ、或ひはさうかも知れんよ」  
大隈は、てれて、心にもない笑ひを見せた。

「あなたは明治政府の偉いお方、それが戀のとりもちまでなさるとは……」  
「なに？」  
「およし遊ばせな、みつともないわ」  
おふくは蓮ッ葉に言つてのけた。  
「いや、これも國家の爲め」

「なんぢや。國の大事を思へばこそ、戀のとりもちまでせにやならんのだ」  
「わたしの素性も知らずによくとりもちが出来ますのね」  
「なアに、あんたの出所は大凡わかつゝ居るんぢや。新島原の女だらう」  
大隈も次第にぞんざいな言葉つきになつて来る。  
「新島原の女なら、らしやめにし出してよいと仰しやるの」  
「そんな譯ではないが、しかし歴史とした上等社會の命令」

**力ヒ焼**  
干やなぎ  
新發賣  
産雲丹みそ

最優最志  
大賀平  
日本盛  
本盛  
命盛  
代理盛  
店盛  
榮

(三一二電)目丁

**看護婦急派**  
求のに應じ  
のます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

**耳鼻科咽喉専門**  
病室完備  
自炊便有  
山内醫院  
醫學士山内亨吉  
平田町(電話六九一番)

**病に勝て!!**  
肺病、ロクマク、神經衰弱、營養不良、不眠症其他に……

**初夏の洋服賣出し**  
爽やかな初夏の御召料に内外の新製優秀生地の  
ボーラ單背廣が取揃へました  
八圓より  
九圓五十錢  
十五圓より

**中・商學校の國防色制服を取揃へました**  
國防色制服上下(六號—三圓、七號—三圓十五錢、  
八號—三圓三十錢)  
黒ギャバ三圓より、昭和セル上下三圓より  
中學上等霜降小倉上下二圓二十錢より  
初夏向きの變色折襟上衣、又實用向き上衣澤山  
(取揃へました)

外に霜降、小倉服、又男女小供服が澤山取揃へて有りますから散歩がてら一度信用堂洋服店へ御立寄り下さい……

**信用堂洋服店**  
町三丁目一〇

**阿部藥舖**  
平田町  
院長 木村寅次郎  
醫學博士 内木宗八  
藥劑師 立番彌一

**平町新川町十九**  
病室隨意  
入院完備  
**木村病院**  
電話一六四番